



プレスリリース

広報センター

Gd. I Lt. 2, Jl. M.I Ridwan Rais No. 5, Jakarta 10110

Telp: 021-3860371/Fax: 021-3508711

www.kemendag.go.id

チレボンでの消費者保護の社会、商務大臣は、5つのヒントを伝える

チレボン 5月22日、スマート消費者は、消費者としての権利と責任を執行することができます精通し、購入前に商品とサービスを研究し、ラベル、取扱説明書と保証書と有効期限に注意すること、適切な品質の健康製品、セキュリティ、安全性、および環境（K3L）を確保し、それと応じてニーズ購入する。

チレボンの Kasepuhan（小さな帝国）の宮殿で消費者保護の前のその 5 つのヒントは商務大臣 Gita Wirjawan が伝えます。イベントは約 400 人、他の人の間で、民族や宗教的なコミュニティ全体での指導者、団体、関係機関の事業者や関係者が出席した。

機会に、大臣はまた、国民経済の現在の状態の概要を提供します。彼は国の経済成長は依然として高いと人口はインドネシアの消費者の購買力が増加し続けること、非常に大きいと述べた。これは、両方の内側から国内外の企業にとって非常に有利な市場としてインドネシアになります。

また、2015 年の終わりにインドネシアは 2015 年に ASEAN 経済共同体（AEC）を満たすためには、財、サービス、資本の流れは ASEAN 加盟国の間で開かれる地域の経済統合に直面することになります。

"ASEAN 経済共同体は、損失としてよりも機会として見られるべきであり、我々は改善し、競争力を向上させるために続ければ、私たちは成功すると確信しています。競争力のある会社は、効率的なコストで高品質な製品を製造する企業です。消費者は競争力のある価格で、安全な製品やサービスを得るので、これは、消費者保護を強化するための政府の努力に特に関連です"と大臣は語った。

商務部は、4 つの政策の柱に通じて、消費者保護政策を行った、それはすなわち：製品/サービスの品質を向上させ、プロの消費者と消費者と企業のための法的確実性を作成しての調節を介して便利を通して、消費者保護政策を行った。商品やサービスの流通の激化監督、消費者への教育を改善賢い消費者と独立した責任ある企業と同様、制度強化消費者保護であることが消費者の権利の意識を通して動きためである。

"このケースでは、私は消費者保護の社会に Kasepuhan 宮殿を組織のイニシアチブを本当に感謝しています。さらに、チレボンの他、インドネシアにおける消費者保護の文脈でかなり進んでいる地域を含め、とりわけ、両方チレボンの市と区の消費者紛争解決機関（BPSK）の形成を実証した"と商務大臣は語った。

全国的に、現在 99 台の合計新しく形成された BPSK。消費者紛争解決委員会は、裁判所外で消費者と企業間の紛争の解決、つまり、速く簡単にそしてかつシンプル。

"私は非常によく設計されているプログラムは、地域社会の支援と参加せずに何もないことに気づきます"と大臣は語った。

社会化の機会に、商務大臣はまたクールボックスにチレボン町の漁師への援助を提供しました。Tegal Wangi で籐職人と社会化した後に大臣は対話を行います。

チレボン町のプロフィール

3735.82 ha を測定チレボン町のエリアは 5 地区、約 30 万人の住民の人口を持つ 22 の村に分かれて、顕著な成果：（1）2012 年大統領の Wahana Tata Nugraha 賞カテゴリ ミディアム市トラフィック分類、（2）情報通信大臣と Mark Plus 会長のによるインドネシアデジタル社会賞受賞（IDSA）の社会全体シルバーステータス。

Kasepuhan 宮殿は 1506 年 Sunan Gunung Jati 蘇南の王位を置き換え Mas Mochammad Arifin II 王子（Sunan Gunung Jati 蘇南のひ孫）によって 1529 年に設立されたチレボン Kasepuhan の宮殿で壮大かつ最もよく保存宮殿です。その他の宮殿は Kanoman 宮殿と Kacirebonan 宮殿です。

Kasepuhan 宮殿はスルタン Sepuh XIV・Pangeran Raja Adipati (PRA) Arief Natadiningrat, SE, が率いて、Kanoman 宮殿はスルタン Kanoman XII・Pangeran Raja Sultan Muhammad Emiruddin そして Kacirebonan 宮殿は KGPB Abdulgani Nata Diningrat Dekarangga が率いています。

チレボンのリージェンシーのプロフィール

チレボン地区は Brebes 地区、Indramayu 地区、Kuningan 地区と Majalengka 地区と国境を接する。チレボンリージェンシーは 28 万 31 千 939 人口、年間 1.96%の成長率の人口を持つ西ジャワ州で最も人口密度の高い地区の一つである。生産商品は籐、冷凍エビ、木箸、カニ肉、カエル足、アンチョビ、前後 kolang 砂糖漬け油、揚げ玉ねぎ、天然石をイラン、ワイン、チップメリンジョ、バティック、ゴム製スリッパ、セラミックタイル、クラフトの間でシェル、ほうき繊維、ドライバキャンバス、と糸。

一流の商品はバティックや籐です。これらの商品の両方が、偉大な投資価値の多くのビジネスユニットの数を持っている国際的な世界でチレボン、インドネシアのイメージをもたらすことができました。

—以上—

詳細は以下までご連絡ください：

Arlinda Imbang Jaya

広報長

商務部

電話・F a x : 021-3860371/021-3508711

メール: pusathumas@kemendag.go.id

Ganef Judawati

消費者・エンパワーメントのディレクター
標準化と消費者保護総局

商務部

電話・F a x : 021-3858187/021-3857954

メール: ganef@kemendag.go.id